

2005年度

Block 4 テュートリアル課題

課題番号 7

神経のひとり芝居

麻酔科 倉田 二郎

無断で謄写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

同期で2年目研修医の二人が、研修医ルームで一緒になりました。

A子「いま麻酔科を回っているの。毎日いろんな科の手術を見られるのよ。」

B子「へー！ 話には聞いていたけど、面白そうね。最近、何か印象に残る手術があった？」

A子「そうね、昨日のことだけど、重い糖尿病で右足の壊疽を起こした患者様で、5本の足指の切断術があったわ。67歳の男性だったかしら。」

B子「指が腐ったのね。痛そう！」

A子「じんじんする感じで、すごく痛いんだって。手術の後はしばらく傷口が痛いかも知れないけど、傷が治ったら痛みもなくなるのでしょうね。」

<ここで、資料1を見せて下さい。>

【抽出を期待する事項】

1. 痛みや感覚を伝える受容器・末梢神経
2. 痛みの様々な性質（じんじん、きりきり、など）
3. 虚血による疼痛のメカニズム
4. コンサルテーションと守秘義務

シート2

B子「そうよね。痛みを感じる神経がなくなるのだから、痛くなくなるでしょうね。」

その1年後、A子は麻酔科に入局し、ペインクリニック担当になりました。総合医局で...

A子「あっ、B子、久しぶり。最近どお？」

B子「忙しいわ。麻酔科って楽しい？」

A子「いろいろできてすごく勉強になるわ。あっ、そう言えば、最近驚いたの。研修医の頃、足指切断の患者様の麻酔をしたんだけど、その方にまたお目にかかったのよ。」

B子「去年あなたが話してたの、覚えてるわ。糖尿病の方でしょう。」

A子「そうそう！ 切断した足がずーっと痛い。むしろ手術の前より痛くなってきたらしいの。それも、もう切った指がないはずなのに、それがまるであるように感じて、そこが痛いんだって。」

【抽出を期待する事項】

1. 脊髄・脳での疼痛の経路
2. 幻肢痛
3. 固有知覚

シート3

B子「まさか！？ だって、もう指はないのでしょうか？ 痛みを感じる神経だって、なくなっているはずよね。」

A子「それがね、残りの神経が悪さをしているらしいの。指がなくても、神経が勝手に指の幻想をつくりだして、動く感じさえあるんだって。」

B子「神経内科医の私としても、それは大いに興味があるわ。一体どこの神経が悪さをすると言うの？ 末梢神経？ 脊髄？ それとも脳かな？ まるで、神経のひとり芝居ね。」

A子「私もいまそれを勉強中なの。ペインクリニックにも毎週いらっしゃるから、できるだけの治療をしているのよ。」

<ここで、資料2を見せて下さい。>

【抽出を期待する事項】

1. 神経原性疼痛
2. 求心路遮断痛
3. 慢性疼痛の治療法
4. ゲート・コントロール説

シート4

B子「へえー。そう言えば、脳梗塞の患者様で、左半身の感覚が麻痺しているのに、左半身の痛みを訴える方がいらっしゃるわ。右側の視床あたりの梗塞なの。なんだか似ているわね。その方も、同じ薬を飲んでいるわ。でも、あまり効果がないから、今度、脳の表面から電気刺激を試してみるらしいの。」

A子「いろんな治療方法があるのね。この方も、脊髄から電気刺激をすると有効かも知れないから、来週、脳外科の先生と相談する予定よ。」

B子「慢性疼痛の患者様って、本当に気の毒ね。A子、ペインクリニック頑張ってる、またいろいろ教えてね！」

【抽出を期待する事項】

1. 脊髄・脳での知覚の経路
2. 視床痛
3. 抗うつ薬の鎮痛作用・薬理学的メカニズム
4. 疼痛の下行性抑制系